資料　1

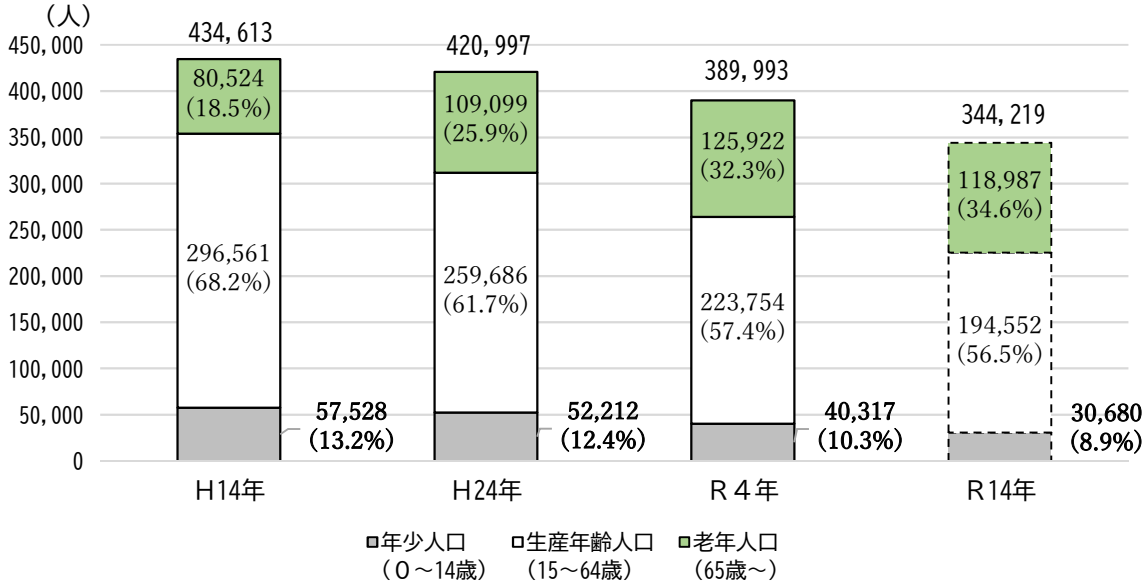
横須賀市の人口、児童生徒数の推移について

1　人口推移について

本市の総人口は、平成４年の440,023人をピークに減少傾向にあります。

老年人口（65歳～）は増加傾向ですが、年少人口（０～14歳）・生産年齢人口（15～64歳人口）が減少傾向にあります。

また、10年後の人口推計においては、全ての人口区分で減少が見込まれます。



資料：平成14年～令和４年までは各年４月の住民基本台帳人口を基に作成。

令和14年は住民基本台帳「見える化システム」による将来推計人口を基に作成。

（　）内は構成比。

2　人口減少の特徴

平成14年には出生数と死亡数が同程度でしたが、20年間で出生数が約半減した半面、死亡数が1.5倍になったことにより自然減（ア欄）が拡大しています。

区　　分	H14年	H19年	H24年	H29年	R４年
人口増減(ｱ+ｲ)	515人	△1,058人	△2,722人	△3,162人	△4,446人
(ｱ)自然増減(a-b)	24人	△546人	△1,564人	△2,244人	△3,542人
(a)出生数	3,634人	3,303人	2,903人	2,462人	1,863人
(b)死亡数	3,610人	3,849人	4,467人	4,706人	5,405人
(ｲ)社会増減(c-d)	491人	△512人	△1,158人	△918人	△904人
(c)転入数	19,918人	17,046人	14,659人	14,917人	14,499人
(d)転出数	19,427人	17,558人	15,817人	15,835人	15,403人

資料：横須賀市統計書を基に作成。（人口増減は前年の人口との比較）

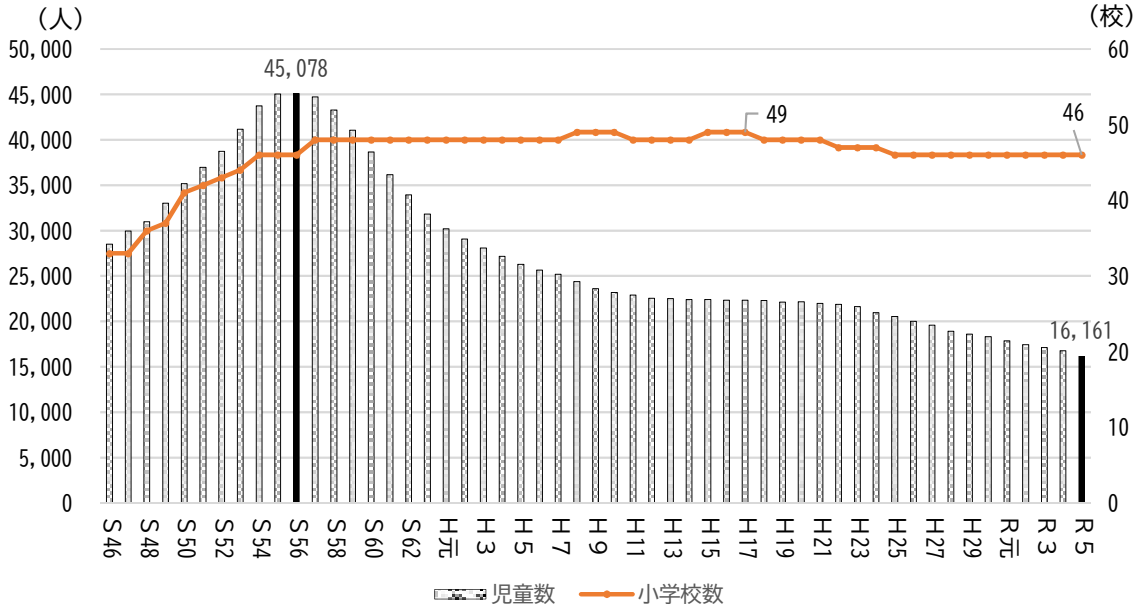
３　小中学校児童生徒数等の推移と今後の見込み

（１）小学校児童数の状況

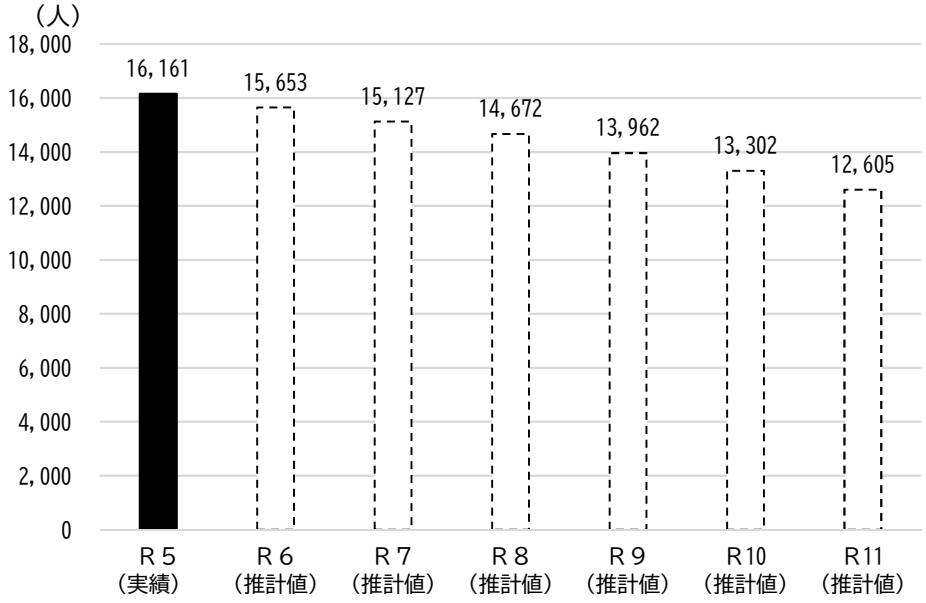
小学校の児童数は昭和56年の45,078人をピークに減少し、令和５年度では16,161人（△64.1%減）となりました。

また、上記２のとおり出生数が減少していることから、今後さらに児童数が減少することが予想され、令和11年度の推計値では12,605人と見込んでいます。

【小学校児童数、学校数の推移】



【小学校児童数の今後の見込み】



資料：令和５年度までは学校基本調査を基に作成。

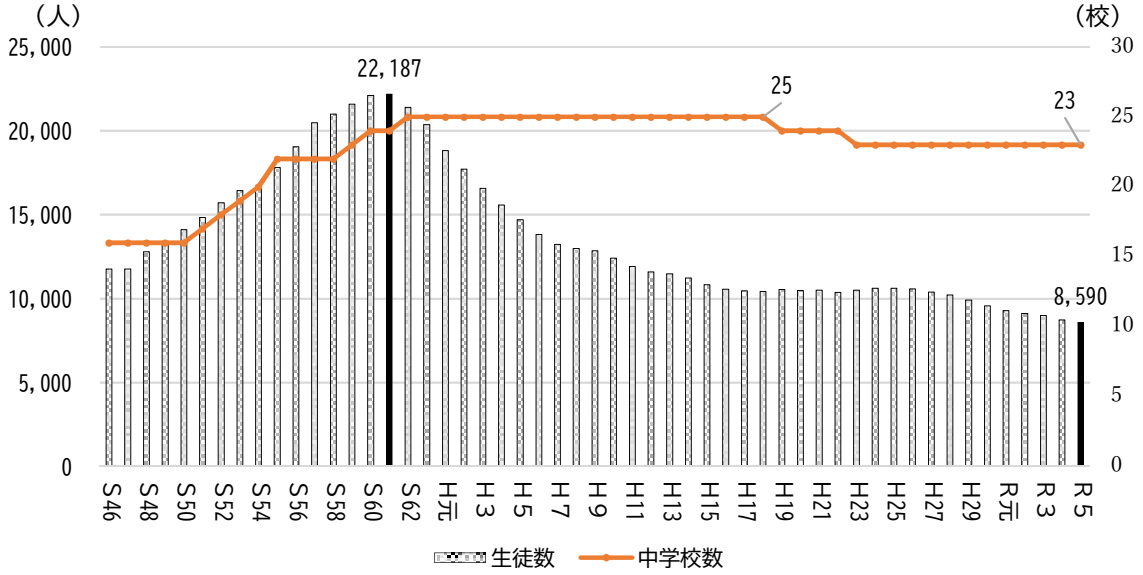
令和６年度～令和11年度までは教育政策課が作成。

（２）中学校生徒数の状況

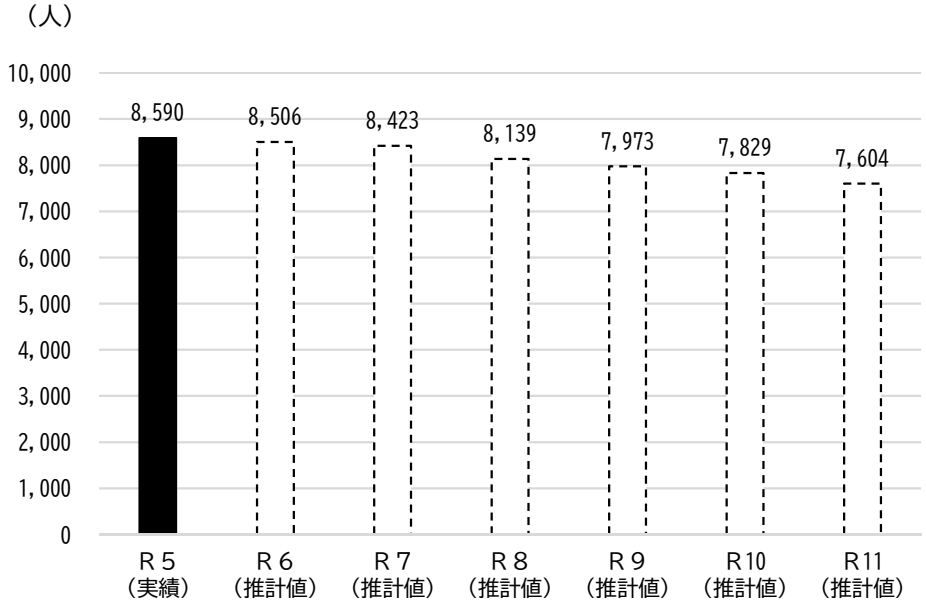
中学校の生徒数は昭和61年の22,187人をピークに減少し、令和５年度では8,590人（△61.3%減）となりました。

また、小学校児童同様出生数が減少していることから、今後さらに生徒数が減少することが予想され、令和11年度の推計値では7,604人と見込んでいます。

【中学校生徒数、学校数の推移】



【中学校生徒数の今後の見込み】



資料：令和５年度までは学校基本調査を基に作成。

令和６年度～令和11年度までは教育政策課が作成。